

■ site



天神橋筋商店街は、総延長 2.6 km の日本一長い商店街として名を馳せる商店街である。古くから大阪天満宮の参道として栄えるが、施設の老朽化が進み、屋でも薄暗い場所も少なくない。しかしその一方で、屋根があり、日差しや車交通を遮断した空間は、ヒートアイランド都市大阪にとって貴重な空間と言える。

■ concept ~天井川~

・集水域の設定・



商店街

集水域

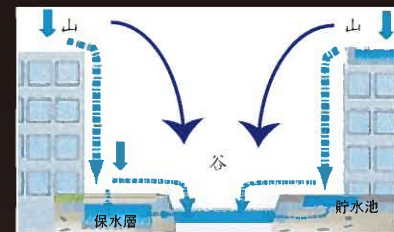
商店街はアーケードを挟んで2-3階の小型商業施設が並び、その周辺にオフィスビルが取り囲むような形になっている。これらを一つの「集水域」に見立て、山から谷へ水が流れるように、ビルから商店へ、商店からアーケードへと雨水が流れ伝わり、商店街のアーケードが「天井川」に生まれ変わる。天井川は商店街に新たな親水空間を生み、商店同士に、商店街と周辺の建築物に新しい「つながり」を創り出す。



「天井」川
~ 1/f ゆらぎデザイン ~

■ diagram

・ phase1 ~山から谷へ~

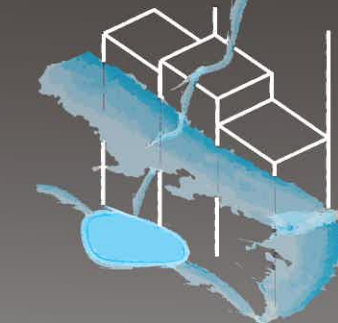


・ 屋上部平面図



集水域に降った雨は、山であるビルの貯水槽や、谷となる3階建に設置される貯水池、1、2階建物の屋上に設けられる保水層等に蓄積される。晴れの日には、集水域にあるそれら全てから少しずつ水がアーケード部分に染み出していき、天井川となって商店街の頭上を流れていく。
屋上部は、主に商店街の商店である谷（2~3階）部分が連結することで、日本一長い商店街の長さをもった屋上親水空間が形成され、商店街と周囲のオフィスビルをつなぐ。ここは、都会の中にありながら喧騒から隔離された場所として、散歩、買い物帰りの一息、連続するオフィスビルに働く人の休憩等に利用される。

・ phase1 ~都市から自然へ~



都市に降った水は、小川となり池となり、多彩に形を変えながら最後は地中に落ちて自然へと還っていく。人はその循環に、都会に失われた自然の「ゆらぎ」を感じとっていく。

1/f ゆらぎデザイン

ゆらぎとは・・・不規則さと規則正しさが、ちょうどいい具合に調和している状態

商店街に自然的な水の循環が生まれたことにより、通常の都市には存在しない、自然の様々な「ゆらぎ」が商店街のいたる場所に生まれる。「ゆらぎ」は商店街を優しくつみこみ、喧嘩や暑さから通る人々を護り、安らぎを与え、今までの商店街にはなかった新しいアクティビティを生み出していく。

1/f ゆらぎとは？

ゆらぎの中でも特に、小川のせせらぎ、そよ風、木漏れ日、夏の瞬き、炎のゆらめき、鳥のさえずり、蛍の光など、自然界のあらゆる現象に現れる自然のゆらぎは「1/fのゆらぎ」と呼ばれている。

近年、自然の生き物である人間の脳波のリラックス時に優勢になるα波や、心臓の鼓動も1/fゆらぎを有しているということがわかってきている。人間はこの1/fゆらぎの中に身をおくと、自然と心地よくなるということがいわれている。

ゆらぎ function



天井川から生まれる4つのゆらぎが、暑さと喧嘩から商店街を守る。

